

「いちほまれ」トップブランド確立事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	福井米戦略課		課長名	角内 宏幸
事業主体	ふくいブランド米推進協議会				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	負担金									経過年数		
補助率	県1/2、10/10									3 年		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る (産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[新ふくいの農業基本計画]					
[解決すべき問題・課題] ・卸売業者や米穀専門店での評価は高いが、全国での消費者認知度の向上が必要 ・販売店舗数が昨年比約1.4倍に増加しているが、店舗あたりの販売量拡大や既存系列 量販店の店舗数拡大の余地がある ・米消費拡大運動の推進のために、米食の有効性について普及する必要がある						[問題・課題を表す客観的データ] いちほまれ販売店舗数 1,700店舗 いちほまれ都市圏認知度 24%						
[事業目的] コロナ禍により米の需給が緩む中、テレビCMを中心とした認知度向上対策や販路拡大対策を実施することにより、「いちほまれ」の販売促進を図る。												
[事業内容] ○テレビCMの作成・放映 ○デビュー5周年記念イベントの開催 ○販売促進キャンペーンの実施 ・全国展開キャンペーンの実施 ・ECサイト・通信販売支援の実施 ○米消費拡大活動の展開 ○生産者所得向上対策 ・所得向上に向けた認知度向上対策 (CM放映枠追加、ラッピング電車) ○いちほまれブランド戦略の改定												
[受益者] 県内米生産者						[想定される受益者数] 18,000人						
前事業の有無・実績	□ 無 ■ 有 事業名 「いちほまれ」ブランド化事業 (実績) ・首都圏や関西・中京圏を中心に販路を拡大し、CMや全国ネットの テレビ番組での放送をはじめ、様々な機会を捉えて「いちほまれ」 のおいしさを全国に発信した。 ・他県産ブランド米を上回る高値で販売された。				関連事業の有無・ 役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 「いちほまれ」生産対策事業□ (役割分担)					
市町との連携状況					他県の状況		<ul style="list-style-type: none"> ・山形県 山形「つや姫」「雪若丸」ブランド化推進事業 123百万円 (R4) ・新潟県 新潟米ブランド強化事業 107百万円 (R4) ・富山県 「富富富」戦略推進事業 82百万円 (R4) 					

「いちほまれ」トップブランド確立事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	福井米戦略課	課長名	角内 宏幸	
事業主体	ふくいブランド米推進協議会				事務区分	■ 自治事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度	
事業実施方法	負担金											
補助率	県1/2、10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	199,420				199,420							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			120,000	300,000	199,420	3年度までの認知度の向上および販売店舗拡大により、CM放映エリアの変更、全国の大規模系列量販店を対象にしたことによる減						
2月現計予算額の推移			120,000	300,000								
決算額の推移			120,000									
前年度までの 主な増減理由	R3年度：CM放映枠拡充および主要卸業者を対象とした販売店舗拡大支援による増											
[成果指標等の推移]												
区分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	都市圏消費者認知度 (%)	(目標) 実績		— 15	— 18	(70)	(70)	(70)	R4年度に山形県のブランド米「つや姫」と同程度の消費者認知度70%を目指す(いちほまれブランド戦略)			
活動指標	いちほまれを販売する店舗数(店)	(目標) 実績		- 1,092	(1,200) 1,216	(1,700)	(2,200)	(2,300)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価			実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・販売店を新たに500店(累計1,700店)開拓し、活動指標は達成した。 ・11月に実施した消費者認知度調査の結果、24.2%(前年度比+5.7pt)に向上した。 			コロナ禍による米価下落など厳しい状況の中、生産者向上のためR5年産の1万トン生産達成に向け、CM放映エリアの追加やラッピング電車による認知度向上や、全国での「いちほまれの日」販売促進企画を実施。				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額		
							□ 継続	□ 休止	□ 完了			
							□ 整理統合	□ 廃止	□ その他			

福井県産米販売強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	福井米戦略課	課長名	角内 宏幸	
事業主体	福井県農業協同組合、越前たけふ農業協同組合				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助											
補助率	県1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る (産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[新ふくいの農業基本計画]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国の主食用米の作付面積は、3.1万ha作付超過の状況 ・ 新型コロナウイルスの影響により米の需要が例年以上に減少している中、米価の下落は生産者の所得減少に直結 						<ul style="list-style-type: none"> ・ 主食用米の需要量は10万トン/年ペースで減少し、令和3/4年の消費量(推計値)702万トン ・ R2年産主食用米の相対取引価格(R3.8) 前年同月比▲1,701円/60kg 						
[事業目的]												
福井県産米の主要な流通先である関西・中京圏を中心とした販売先確保と価格維持のための販売促進活動を強化する。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> ○情報発信力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 福井県産米のキャンペーン展開 ○営業力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 販売促進グッズの作成 ・ 福井県産米および産地ブランドの営業活動の強化 ・ 卸業者と連携した販促活動の実施 												
[受益者] 県内米生産者						[想定される受益者数] 18,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「いちほまれ」トップブランド確立事業 (役割分担) 「いちほまれ」の知名度向上を目指した販路確保・PR対策						
市町との連携状況					他県の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新潟県 新潟米ブランド強化事業 107百万円 (R4) ・ 富山県 「富富富」戦略推進事業 82百万円 (R4) 						

福井県産米販売強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	福井米戦略課	課長名	角内 宏幸		
事業主体	福井県農業協同組合、越前たけふ農業協同組合				事務 区 分	■ 自治事務		事業 区 分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			<input type="checkbox"/> 補助金				
補助率	県1/2					□ その他			<input type="checkbox"/> その他				
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	27,000					27,000							
[予算額の推移等]												(単位：千円)	
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			100,000	100,000	27,800	27,800	27,000	CMを減らし、販促グッズの配布を増やしたことによる減					
2月現計予算額の推移			80,000	100,000	27,800	27,800							
決算額の推移			77,607	98,000	25,852								
前年度までの 主な増減理由		平成29年度～令和元年度の3年間、生産調整廃止に対する緊急措置として消費地でのPRを強化											
[成果指標等の推移]													
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	福井県産米の価格維持 (円/俵)	(目標) 実績	— 15,000	(15,500) 15,300	(15,500) 14,929	(15,500)	(15,500)	(15,500)	(15,500)	通年平均取引価格			
活動指標	オープンキャンペーン実施 回数 (回)	(目標) 実績			(1) 1	(1)	(1)	(1)	(1)	福井県産米の販売・PRにつながるキャンペーンの実施			
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
福井米キャンペーン応募実績 R3：63,146件(9～11月) クローズドキャンペーン参加店舗 R3：245店舗(見込) オープンキャンペーンは目標どおり開催した。					新型コロナウイルスの影響により店頭イベントやマネキンによる斡旋販売の実施が困難なため、米卸業者と連携した販売促進キャンペーンを継続する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	800	
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

福井米体質強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	福井米戦略課	課長名	角内 宏幸	
事業主体	福井県JAグループ（JA福井県・JA福井県経済連）				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助											
補助率	県1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る(産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[新ふくいの農業基本計画]					
[解決すべき問題・課題] ・近年の輸送業界の担い手不足から、米袋輸送が敬遠され、米出荷に遅れが生じている ・輸送コスト高騰による生産者負担の増加や実需者からの要望に対して適時に輸送できないことにより、福井米の評価低下につながる						[問題・課題を表す客観的データ] 紙袋ばら積みは作業効率が低く、ドライバー負担となるため敬遠される。 米の荷下ろし作業時間(13t)紙袋ばら積み：最大90分、フレコン：最大60分(ばら積みの1.5倍の作業性)						
[事業目的] 米袋の輸送コストの高騰に対応するため、効率的な輸送システムの構築に対し支援し、農家の所得向上を図る。												
[事業内容] ○生産者の手間と輸送コストの低減 ・フレコン集荷の推進 ・生産者から米卸業者まで一貫した米袋パレット輸送の実施												
[受益者] 県内米生産者						[想定される受益者数] 18,000人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 (役割分担) 1 福井県産米販売強化事業 2 土壌保全調査事業 1 福井米の販売先確保と価格を維持するための販売促進活動 2 福井米の収量・品質を向上させるための土壌状況の把握						
市町との連携状況					他県の状況							

福井米体質強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	福井米戦略課	課長名	角内 宏幸		
事業主体	福井県JAグループ（JA福井県・JA福井県経済連）				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			<input type="checkbox"/> 補助金		R2 年度 経過年数		
補助率	県1/2								<input type="checkbox"/> その他		3 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	28,500					28,500							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				40,000	30,000	28,500	令和3年度までに前倒しで導入が進んでいるため、4年度の導入数量は減少						
2月現計予算額の推移				40,000	30,000								
決算額の推移				38,742									
前年度までの 主な増減理由		令和2年度の実績を基に、単価と導入数量を計画から減少											
[成果指標等の推移]													
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	生産者の所得向上 (億円/年)	(目標)					(1.77)	(1.77)	資材費低減効果、労務費低減効果等の合計額				
		実績											
活動指標	共通フレコン導入 (袋)	(目標)		(9,000)	(9,000)	(7,000)			共通フレコン袋導入数 R2～4：計25,000袋				
		実績		10,000	8,000								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価					
目標どおり、共通フレコン8,000袋、共通パレット2,840個を導入した。				令和2、3年度の実績は計画より前倒しで導入が進んでいるため、単価と導入数量を従来計画から減らし、予算額を圧縮する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,500		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

ふくいそばの魅力全国発信事業口

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	福井米戦略課	課長名	角内 宏幸		
事業主体	県、福井そばルネッサンス推進実行委員会				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助												
補助率	県1/2、1/3												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る (産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[新ふくいの農業基本計画]						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本一高い評価 (「そばがおいしい都道府県 1位」「おいしいそば産地大賞 2020 1位」) を得ているが、そば処のイメージは低い ・ 他県産との差別化を明確にしたPR対策が必要 						そば県といえば、どこ? (Jタウンネット調べ) 1位長野県 4位 福井県 そばがおいしそうな都道府県 (ニュースサイトしらべえ調べ) 1位長野県 (ランク外) 福井県							
[事業目的]													
本県のそばの魅力を県内外に強力にPRするとともに、県産そばの消費拡大を目指す。													
[事業内容]													
1 PR対策 ○「ふくいそば」のブランディング ・「ふくいそば」の定義づけ、共通した説明やわかりやすいキャッチコピーの決定、そば店や県民に広く周知 ○日本全国そばグルメ博組織委員会設立 ○首都圏を中心としたPR ・イベント等でそば打ち実演・体験講座を開催 ○モバイルスタンプラリーの実施 ・県内観光地や県外認証店と連携し実施 ○全日本素人そば打ち名人大会の開催 ○福井県高校生そば打ち選手権大会の開催 2 生産対策 ○在来種の品質確保対策 ・帰化アサガオの分布調査、防除体系確立													
[受益者] 県内そば生産者、実需者 (そば店等)						[想定される受益者数] 1,550経営体							
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「ふくいそば」ブランド確立事業 (実績) 大都市の百貨店4か所において県産そば粉100%のそばを提供する店を出店したほか、福井駅前で行った全日本素人そば打ち名人大会を開催し、県内外で県産そばをPRした。				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況		福井市、ふくい嶺北連携中枢都市圏と連携し、県産そば使用店への誘客を促進するためのモバイルスタンプラリーを実施				他県の状況							

ふくいそばの魅力全国発信事業口

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	福井米戦略課	課長名	角内 宏幸		
事業主体	県、福井そばルネッサンス推進実行委員会				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助												
補助率	県1/2、1/3												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	19,982					19,982							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				6,901	14,421	19,982	・至福のそばコンテスト、日本一の在来種そば王国ふくい体験会の終了による減 ・ふくいそばのブランディング、日本全国そばグルメ博（仮称）組織設立、首都圏を中心としたPRの実施による増						
2月現計予算額の推移				4,243	14,421								
決算額の推移				4,190									
前年度までの主な増減理由		令和2年度まで、「ふくいそば」ブランド確立事業として、全日本素人そば打ち名人大会、高校生そば打ち選手権大会、日本一の在来種そば王国ふくい体験会を実施 令和3年度は在来種の良さを発信するため、ふくいそばの魅力全国発信事業として、職人のための「蕎麦大學」、ふくいそばOnlineの改修、モバイルスタンプラリー等を実施したことによる増											
[成果指標等の推移]													
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	県産玄そば使用量の増(t) (目標)			165	(182)	(200)	(220)	(220)	「おいしい福井県産そば使用店」認証店での年間玄そば使用量				
活動指標	スタンプラリー実施回数 (目標)				(1)	(1)	-	-	モバイルスタンプラリーの実施				
	実績				3								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価					
認証店での玄そば使用量165トン（R2年産） モバイルスタンプラリーの実施回数3回（7～10月、11～1月、1～3月） 2回目までの参加者数 延2,687人 実施方法を効率化することで、目標を超えてスタンプラリーを実施できた。				新型コロナウイルスの影響により、県外からの積極的な誘客の実施が困難であった。県外でのPRを充実するため、首都圏の物産展等でのPRを実施する。				<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

九頭竜川下流域水資源利活用推進協議会負担金

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	福井米戦略課	課長名	角内 宏幸	
事業主体	九頭竜川下流域水資源利活用推進協議会				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	定額											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る (産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[新ふくいの農業基本計画]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業が予定され、本県への注目度が高まる中、時期を逸せずに九頭竜川下流域で生産される農産物を県外消費者・実需者に売り込む必要がある						[問題・課題を表す客観的データ] 県内産主要野菜の出荷量の内、県外市場の比率 30% (令和2年 経済連出荷実績)						
[事業目的] 九頭竜川パイプライン受益地区で生産された高品質・良食味な米や園芸作物を県内外に広くPRし、生産拡大や販売促進につなげる。												
[事業内容] ○大都市圏でのPR ・量販店で受益地農産物購入者に対し、県産品をプレゼントする企画を実施 ・JA福井県と中京・関西量販店での新米フェアを実施。 ・小中学校の学校給食に坂井産米の提供 (東京) ○市との共同イベント ・イベント会場でのお米の配布 ・九頭竜川下流域農業用水のパンフレット配布 ○情報発信 ・SNS、雑誌などでパイプライン、特産品をPRする ○鳴鹿大堰堤等見学会 ・見学者へ坂井産米おにぎりの試食提供												
[受益者] パイプライン受益地区の生産者						[想定される受益者数] 5,390人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況	・坂井市との共同イベント 販促グッズの作成・配布、坂井市アンテナショップでの新米フェア				他県の状況							

九頭竜川下流域水資源利活用推進協議会負担金

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	福井米戦略課	課長名	角内 宏幸	
事業主体	九頭竜川下流域水資源利活用推進協議会				事務区分	■ 自治事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H30 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	負担金							<input type="checkbox"/> 補助金				
補助率	定額							<input checked="" type="checkbox"/> その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	5,000					5,000						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		5,000	5,000	5,000	5,000	5,000						
2月現計予算額の推移		5,000	5,000	5,000	5,000							
決算額の推移		5,000	5,000	5,000								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	県内主要産物6品目の県外市場出荷量(億円)	(目標) (24)	(25) 25	(26) 26	(30)	(31)	(32)	(32)	越のルビー、サトイモ、らっきょう、とみつ金時、福井梅、越前水仙			
活動指標	県外でのイベント・キャンペーン実施回数	(目標) (2)	(2) 1	(2) 2	(2)	(2)	(2)	(2)	県外量販店でのフェア・イベント実施回数の実施			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
県外量販店への働きかけにより、フェア・イベントは目標を超えて4回実施することができた。 また、県外での量販店での坂井産米の取扱いを開始した。 (関西量販店での坂井産米販売量：令和2年産139t、令和3年産126t)				県外消費者対象のPRを充実するため、大都市圏の量販店でのプレゼントキャンペーンや新米販売イベントを実施する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

福井米生産体制整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	福井米戦略課		課長名	角内 宏幸	
事業主体	福井県農業協同組合				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度	
事業実施方法	補助									経過年数			1 年
補助率	国 1/2									1 年			
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る (産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[新ふくいの農業基本計画]						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]							
①・福井東部育苗センターは、老朽化が進んでおり、修繕費がかさんでいる。 ・施設内の機械が古く自動化されていないため、作業要員が多くかかり、 かつ手作業が多く、均一な高品質な苗の生産が難しい状態 ②・県内4地域の一角の種子生産拠点として優良種子の効率的な生産体制整備が 必要。 ・需要が高い県内外向けの種子 (ハナエチゼン等) の生産拡大が必要。						①・福井東部育苗センター 昭和52年建設で44年経過 ・修繕費が毎年110万円程度発生している。 ・育苗に係る人員 27人 (更新された施設の人数 5人) ②・上中種子センター平成2年建設で30年経過し修理部品の供給が困難 ・修繕費が毎年100万円程度発生している。							
[事業目的]													
水田農業における所得向上を図るため、水田営農条件の整備に必要な機械・施設の導入を支援する。													
[事業内容]													
①福井東部育苗センターを新たに建築し、福井地区および周辺地区の育苗管理を集約することで、効率化、機能向上を図る。 ②上中種子センターの種子乾燥調製機能を向上し、優良種子の生産能力の向上を図る。 ・種子荷受、乾燥、精選出荷設備の整備 ・種子消毒設備の整備													
[受益者] 地区内米生産者						[想定される受益者数] 2,700人							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況					他県の状況								

福井米生産体制整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	福井米戦略課	課長名	角内 宏幸	
事業主体	福井県農業協同組合				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度
事業実施方法	補助											
補助率	国 1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	455,257	455,257				0 強い農業づくり総合支援交付金の産地基幹施設等支援タイプ						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	879,698	622,350	286,310	-	455,257	要望に対応したことによる増						
2月現計予算額の推移	609,982	550,000	208,300									
決算額の推移	76,900	540,959	208,300									
前年度までの主な増減理由	R2は種子乾燥調製施設（JA福井県）、穀物低温倉庫（JA福井県経済連）整備を支援 H30、R元は乾燥調製施設（JA花咲ふくい）整備を支援											
[成果指標等の推移]												
区分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	上段 福井東部育苗C：上位等級(%) (目標)					(96.7)	(96.7)	上段 福井東部育苗センター：上位等級比率 96.7% 下段 上中種子センター：種子処理量150 t				
	下段 上中種子C：種子処理量(t) 実績	91.2 62	90.8 84	93.2 42	— 77	—	—					
活動指標	施設の統廃合、効率化 (福井東部育苗センター、 上中種子センター) 実績					(2)	-	施設整備数				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

「いちほまれ」生産対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	福井米戦略課	課長名	角内 宏幸	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る (産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[新ふくいの農業基本計画]					
[解決すべき問題・課題] ・令和3年産から担い手以外の農家も「いちほまれ」生産者となるため、 指導対象が増加 ・品質重視で生産する意識の醸成						[問題・課題を表す客観的データ] ・令和3年産いちほまれ生産者数 453人 (担い手408名、一般45名) ・1等米比率 (H30:97.7%、R元:93.8%、R2:96.4%、R3:97.5% (9/30時点))						
[事業目的] 「いちほまれ」を全国トップクラスの評価を得て生産拡大していくため、技術課題を短期間で解決する指導体制を整備する。												
[事業内容] ○高品質・高付加価値・高信頼性を満たす生産拡大 ・ブランド評価確立調査圃の設置 ・生産者自らが施肥管理を判断できる生育診断チャートの作成、生産工程管理簿の配布 ・いちほまれ生産推進大会の開催 ・生産圃場看板の配布 ・生産力を養う技術研修会の開催												
[受益者] 県内米生産者						[想定される受益者数] 18,000人						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「ポストこしひかり」生産対策事業 (実績) ・10系統から1系統 (いちほまれ) を選抜 ・栽培マニュアル作成 ・H29年度 生産者131名、栽培面積120ha、生産量600t				関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「いちほまれ」トップブランド確立事業 (役割分担) 「いちほまれ」の知名度向上を目指した販路確保・PR対策				
市町との連携状況						他県の状況		・山形県 山形「つや姫」「雪若丸」ブランド化推進事業 123百万円 (R4) ・新潟県 新潟米ブランド強化事業 107百万円 (R4) ・富山県 「富富富」生産振興対策事業 725万円 (R4)				

「いちほまれ」生産対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	福井米戦略課		課長名	角内 宏幸	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H27 年度	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度	
事業実施方法	直営			経過年数						8 年			
補助率	—												
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	6,908					6,908							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			23,447	22,652	20,068	7,185	6,908	・栽培診断チャートがR3年度で完成し、R4年度は新規生産者分の作成経費のみとなったことによる制作経費の減					
2月現計予算額の推移			18,595	12,127	7,668	7,185							
決算額の推移			14,405	11,988	6,783								
前年度までの 主な増減理由		平成30年度～令和2年度の3年間、特別栽培を拡大するために必要な機械導入経費を支援											
[成果指標等の推移]													
区分			30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	いちほまれ一等米比率 (%)	(目標)	(97)	(97)	(97)	(97)	(97)	(98)	(98)	つや姫の一等米比率98% (H29～R3平均)			
		実績	97.7	93.7	96.3	97.8							
活動指標	いちほまれ生産量 (t)	(目標)	(3,000)	(4,000)	(5,000)	(6,000)	(7,000)	(10,000)	(10,000)	H30 本格生産販売開始 (生産・販売量はふくいブランド米推進協議会で決定)			
		実績	3,000	4,000	5,000	6,000							
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
研修会やマニュアルを整備し生産者453名を確保 (R3年産) いちほまれの一等米比率 97.8% (R3年産) 活動指標、成果指標のいずれも達成。					栽培診断チャートがR3年度で完成し、R4年度は新規生産者分の作成経費のみとなったため、経費を削減。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		277
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

土壌保全調査事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	福井米戦略課	課長名	角内 宏幸	
事業主体	福井県経済連農業協同組合連合会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助											
補助率	県1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る (産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[新ふくいの農業基本計画]					
[解決すべき問題・課題] 土壌分析は水稻の収量・品質向上に向けた施肥改善に効果的であり、県内生産者から非常に強い要望を受けているが、全県調査は平成12年以来実施していない。						[問題・課題を表す客観的データ] 現在、地域JA毎に水稻肥料銘柄が多数存在しており、資材の集約がされていない。 (R2:23種) 集約に必要な県内全域での土壌分析は平成12年以降実施されていない。						
[事業目的] 米の収量・品質を向上させるため、土壌状況の把握・分析に対し支援し、農家の所得向上を図る。												
[事業内容] ○県内9,000地点を3年に分けて調査・分析 ・県内の土壌状況を把握し、使用する肥料を集約することにより生産者の資材コストを低減 ・分析結果を生産者にフィードバックし、生産者が適正な土壌改良資材を施用することにより収量・品質を向上												
[受益者] 県内米生産者						[想定される受益者数] 18,000人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 土壌保全調査事業 (実績) 平成9年～12年に国庫事業を活用し、県内10,126地点を県が調査分析				関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況					他県の状況							

土壌保全調査事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	福井米戦略課	課長名	角内 宏幸			
事業主体	福井県経済連農業協同組合連合会				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度	
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			<input type="checkbox"/> 補助金					<input type="checkbox"/> その他
補助率	県1/2								<input type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	3,975				3,975									
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移			7,040	3,975	3,975									
2月現計予算額の推移			7,040	3,975										
決算額の推移			5,243											
前年度までの 主な増減理由	3,000箇所／年の調査を実施予定だったところ、調査単価の減（3,960円/地点→2,300円/地点）により、R2年度に4,000箇所の調査を実施。 R3年度は2,500箇所の調査となったため予算が減。													
[成果指標等の推移]														
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	資材コストの低減 (円/10a)	(目標) 実績				(△ 831)	(△ 831)	水稻肥料を23種 (R元) から13種 (見込み) に整理し、 16,512円から15,681円に資材コストを低減						
活動指標	土壌分析実施件数累計 (件)	(目標) 実績		(3,000) 4,000	(6,000) 6,500	(9,000)	(9,000)	県内9,000地点を3年に分けて土壌分析を実施						
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価			実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価							
2,500地点を調査、分析し、活動指標を達成。							<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
							<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					